

令和7年度 出資団体評価シート

1 基本情報

団体名	(公財) パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会	所管課	市) 文化振興課
基本財産	136,760千円	記入者	担当 佐藤 電話 011-211-2261
設立年月日	平成14年(2002年) 4月1日	本市出資額	100,000千円 (出資割合 73.1%)
設立・出資目的	この法人は、パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌を通じて、世界最高水準のオーケストラ教育を実施するとともに、演奏会等の音楽の普及に関する事業を行うことにより、次代を担う若手音楽家を育成し、文化芸術の発展及び向上を図り、音楽を通じて世界平和に貢献することを目的とする。	出資年月日	平成14年(2002年) 4月1日
代表者	理事長(非常勤) 秋元 克広(市長)	沿革	平成2年 民間企業等が主体となり、第1回PMFを開催 平成3年 PMF組織委員会(任意団体)が主体となり、第2回PMFを開催 平成14年 (財)PMF組織委員会として認可 平成22年 (公財)PMF組織委員会へと移行
主な出資者	① 札幌市 (73.1%) ② 野村証券 (7.3%) ③ 北海道 (3.7%) ④ トヨタ自動車 (2.2%) ⑤ 北海道新聞社 (2.2%) ⑥ パナソニック (2.2%)		
団体所在地	〒060-0052 札幌市中央区南2条東1丁目1-14 住友生命札幌中央ビル1階		電話 011-242-2211

2 実施事業

(詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① 教育事業 (5ページ)	② 演奏会事業 (6ページ)
世界最高水準のオーケストラ教育の実施により、次代を担う若手音楽家を育成し、文化芸術の発展及び向上を図り、音楽を通じて世界平和に貢献する。	世界最高水準の音楽家等による演奏会の開催により、優れた音楽演奏に接する機会を広く提供し、文化芸術の発展及び向上を図り、音楽を通じて世界平和に貢献する。
③ 音楽普及事業 (7ページ)	④
演奏技術及び音楽指導方法の向上を図り、優れた演奏に接する機会を提供することにより、音楽に対する理解を深め、文化芸術の発展及び向上を図る。	
⑤	⑥
⑦	⑧
(2)総支出に占める事業支出割合	100.0% (主要事業支出合計 478,041千円 + 総支出 478,041千円)
(3)主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
理由	国際教育音楽祭の実施を通じて、参加したアカデミーの育成を実践するとともに、年間延べ2万人前後の来場者が音楽に親しむ機会を提供することで、芸術文化の普及発展を図っていると認められるため。
(4)主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 実施されている <input type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	国際教育音楽祭の実施を通じて、延べ約3,900人のアカデミー修了生を世界の主要なオーケストラ等に輩出しているほか、世界でも有数の音楽家であるPMF教授陣が加わった演奏会を行うことにより、質の高い音楽に触れる機会を市民に提供していると認められるため。

3 団体職員・構成員等

令和7年4月1日現在(単位:人)

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成			
役員						10歳代	0	40歳代	5
常勤理事	1	0	0	0	10	20歳代	0	50歳代	5
常勤監事	0	0	0	0		30歳代	3	60歳代	0
非常勤理事			7			平均年齢		46.0	歳
非常勤監事			2						
職員									
常勤管理職	0	3	2	0	16				
常勤一般職	0	0	11	0					
非常勤職員			0						

役員の任期		
理事	2	年
監事	4	年
代表権のある役員の就任年月		
理事長	H28.6	
常務理事	R3.4	
職員総数の推移(人)		
R05.4.1時点	16	
R06.4.1時点	17	

4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区 分				R5年度決算	R6年度決算	(経常収益比)	(前年比)	
財務状況	正味財産増減計算書	正味財産増減計算書	経常増減	経常収益(a)	443,858	533,775	(100.0%)	(+89,917)
				経常費用(b)	445,606	478,041		(+32,435)
				うち管理費等(c)	27,667	31,776	(6.0%)	(+4,109)
				うち人件費(d)	84,862	89,083	(16.7%)	(+4,221)
				当期経常増減額(e)	▲ 1,748	55,734		(+57,482)
				当期正味財産増減額(f)	▲ 1,769	55,714		(+57,483)
	貸借対照表	資産(g)	流動資産(h)	54,525	33,881		(▲ 20,644)	
			固定資産(i)	291,434	368,551		(+77,117)	
			うち基本財産(j)	136,760	136,760		(0)	
			負債(k)	27,782	27,823		(+41)	
		流動負債(l)	27,782	27,823		(+41)		
		固定負債(m)	0	0		(0)		
		正味財産(n)	318,177	374,609		(+56,432)		
		借入金残高(o)	0	0		(0)		

R6年度決算の概要

区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a	事業規模の回復に伴い事業収益が増加したほか、国から市への補助金が前年度よりも増加したこと、企業版ふるさと納税を活用したご寄付をいただいたことなどに伴い、受取地方公共団体負担金が増額となったことによるもの。
b	事業規模の拡大や為替変動、物価高騰等の影響を受け、アカデミー・アーティスト関連費（旅費、宿泊費等）が増額となったもの。

※詳細は、別添の貸借対照表、正味財産増減計算書を参照。

5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区 分	R5年度決算	R6年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	278,621	361,411	(+82,790)
市委託料	0	0	(0)
市業務委託料	0	0	(0)
うち随意契約	0	0	(0)
市指定管理費	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)
(参考) 再委託額	0	0	(0)
うち市業務委託分	0	0	(0)
再委託率			(0)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高	0	0	(0)
損失補償等限度額	0	0	(0)
損失補償契約等に係る債務残高	0	0	(0)
(参考) 市施設利用料金収入	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)

6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項 目		R5年度	R6年度	(前年比)	評価基準	備 考
(1)健全性	剰余金(n-j)	181,417	237,849	(+56,432)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷g)	92.0%	93.1%	(+1.1%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(h÷l)	196.3%	121.8%	(▲74.5%)	≤150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(i÷n)	91.6%	98.4%	(+6.8%)	≤100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(o÷g)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	借入金残高÷資産
(2)生産性	職員一人当たり経常収益	27,741千円	31,399千円	(+3,657千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	19.1%	16.7%	(▲2.4%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当たり管理費	1,729千円	1,869千円	(+140千円)	前年比較増	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	6.2%	6.0%	(▲0.3%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
(3)自立性	市依存度(収入)	62.8%	67.7%	(+4.9%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	62.8%	67.7%	(+4.9%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益
健全性の評価		□ 非常に高い	□ 高い	■ 概ね健全	□ やや低い	□ 低い
理由 <ul style="list-style-type: none"> ・流動比率は減少したものの、剰余金、自己資本比率、固定比率はすべて良好な状態と判断するため。 ・自立性は低下したものの、生産性を示す指標がおおむね向上したため。 						

(注1)市収入＝市補助金・交付金・負担金＋市業務委託料（随意契約分）＋市指定管理費（非公募分）＋市施設利用料金収入（非公募分）

(注2)市収入＝市補助金・交付金・負担金＋市業務委託料＋市指定管理費＋市施設利用料金収入

7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、年度ごとの指標(※2)の達成状況とその評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画（別冊子）を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

(1)出資・出捐

○取組計画		現状値 (R 5年度)	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	備考	
No.	指標名							
	○現在の出資比率・出資額を維持する							
①	市出資比率	目標	100,000千円	100,000千円	100,000千円	100,000千円		
		実績	100,000千円	100,000千円				
		評価	達成					
未達成理由と今後の対応（R 6年度の評価が未達成の場合のみ記載する）								

(2)人的関与

○取組計画		現状値 (R 5 年度)	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	備考
No.	指標名						
○継続的な事業実施に向けた体制整備							
①	市派遣職員数	目標	3 人	3 人	3 人	3 人	
		実績	3 人	3 人			
		評価	達成				
②	市職員の理事就任数	目標	2 人	2 人	2 人	2 人	
		実績	2 人	2 人			
		評価	達成				
未達成理由と今後の対応（ R 6 年度の評価が未達成の場合のみ記載する）							

(3)団体の活用

○取組計画		現状値 (R 5 年度)	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	備考
No.	指標名						
○市民誰もが音楽に触れる機会とまちの賑わいの創出							
①	来場者数（札幌市内）	目標	22,000人	23,000人	24,000人	25,000人	
		実績	20,561人	23,457人			
		評価	達成				
②	アウトリーチコンサートの開催回数	目標	25回	30回	35回	35回	
		実績	22回	31回			
		評価	達成				
未達成理由と今後の対応（ R 6 年度の評価が未達成の場合のみ記載する）							

(4)更なる経営の安定化

○取組計画		現状値 (R 5 年度)	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	備考
No.	指標名						
○協賛企業の拡充や協賛金額の確保による経営の安定化							
①	協賛企業数（企業版ふるさと納税活用企業含む）	目標	100社	105社	110社	110社	
		実績	97社	100社			
		評価	達成				
②	企業協賛金額（企業版ふるさと納税活用企業含む）	目標	95,000千円	100,000千円	110,000千円	120,000千円	
		実績	90,049千円	111,097千円			
		評価	達成				
未達成理由と今後の対応（ R 6 年度の評価が未達成の場合のみ記載する）							

(5)団体統制

○取組計画		現状値 (R 5 年度)	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	備考
No.	指標名						
○PMF組織委員会の事業体制強化							
①	職員研修プログラム数	目標	10回	11回	12回	13回	
		実績	10回	10回			
		評価	達成				
②	研修理解度アンケートの実施	目標	手法検討	実施	実施	実施	
		実績	未実施	実施			
		評価	達成				
未達成理由と今後の対応（ R 6 年度の評価が未達成の場合のみ記載する）							

(6)札幌市の施策との連動

○取組計画		現状値 (R 5 年度)	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	備考
No.	指標名						
	○まちのにぎわい創出と将来を担う創造性豊かな人材の育成						
①	来場者数（札幌市内）	目標	22,000人	23,000人	24,000人	25,000人	
		実績	20,561人	23,457人			
		評価	達成				
②	子ども関連事業の参加者数	目標	1,800人	2,000人	2,200人	2,400人	
		実績	1,637人	3,087人			
		評価	達成				
未達成理由と今後の対応（R 6 年度の評価が未達成の場合のみ記載する）							

8 情報公開等の状況

ホームページ公開情報	
ホームページアドレス	https://www.pmf.or.jp/
Eメールアドレス	pmf.soumu@pmf.jp
【経営状況等】	
<input checked="" type="checkbox"/> 定款	<input checked="" type="checkbox"/> 役員名簿
<input checked="" type="checkbox"/> 事業報告書	<input checked="" type="checkbox"/> 決算書
<input type="checkbox"/> 団体機構図	<input type="checkbox"/> 事業計画書
<input type="checkbox"/> 中長期的な経営計画	<input type="checkbox"/> 予算書
【事業情報等】	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施事業（イベント）情報	<input type="checkbox"/> 管理施設情報
<input type="checkbox"/> その他（	）
ホームページ以外の情報媒体	
広報誌・冊子の発行：	PMF公式報告書

※特記ない限り、本評価シートの情報は令和 7 年7月1日現在のものです。

事業評価（１）教育事業

1. 事業概要	事業所管課： 市民文化局文化部文化振興課	担当： 佐藤	電話： 011-211-2261
(1)事業内容	<p>オーディションにより世界各国から選抜した若手音楽家に対し、世界最高水準のオーケストラ教育を実施するとともに、その成果の発表を行う。</p> <p>【市の関連事業名】 パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業</p>		
(2)事業目的	世界最高水準のオーケストラ教育の実施により、次代を担う若手音楽家を育成し、文化芸術の発展及び向上を図り、音楽を通じて世界平和に貢献する。		
(3)事業開始	平成3年(1991年)		

2. 実施結果

2. 実施結果

(1)事業収支 (単位：千円)	項目	R5年度	R6年度	(前年比)	
	収入	204,369	286,796	(+82,427)	
	(経常収益比)	(46.0 %)	(53.7 %)		
	市補助金・交付金・負担金	156,653	238,604	(+81,951)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	0	0	(0)	
	その他収入	47,716	48,192	(+476)	
	費用(支出)	251,071	269,394	(+18,323)	
	事業費	237,791	254,142	(+16,351)	
	管理費等	13,280	15,252	(+1,972)	
	収支差	▲ 46,702	17,402	(+64,104)	
	収支比率	81.40%	106.46%	(+25.06%)	
(2)活動指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
①	オーディション受験者の出身国・地域数	62	-	70	-
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
①	オーディション受験者数	1,123	-	1,344	-
②	オーディション合格者数	85	-	95	-
③	倍率(受験者数/合格者数)	13.2倍	-	14.1倍	-
④	PMF修了生の延べ人数	3,791	-	3,876	-
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は	<input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている	<input type="checkbox"/> 高める余地あり	<input type="checkbox"/> 出していない
	<p>令和6年度は、以前から実施していたPMFオーケストラ演奏会や、様々な編成での室内楽やリンクアップ・コンサートなどの多彩な活動を通じて、次代を担う若手音楽家を育成すると同時に、クラシック音楽を支える将来の聞き手を育み、音楽ファンを拡大させるという二つの大きな成果を獲得したものと判断する。なお、活動指標と成果指標にあっては、事業の性格上これに代わる指標の設定は困難だが、大学等関連機関・団体への周知等に最大限努めており、目標を設定した場合においても達成のための手段が特段存在しないことから、目標の設定は行っていない。</p>			
(2)収支状況	当該事業の収支状況は	<input type="checkbox"/> 良好	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり	<input type="checkbox"/> 要改善
	<p>予算額以上の収入を確保してはいるが、協賛金収入が不安定であることや物価高等による事業経費の増加傾向が続いており、他事業との収入額の調整を行っていることから、収入増及び支出の節約に努めていく必要がある。</p>			

事業評価（ 2 ） 演奏会事業

1. 事業概要	事業所管課： 市民文化局文化部文化振興課	担当： 佐藤	電話： 011-211-2261
(1)事業内容	PMFアカデミー生、修了生及び教授陣等による演奏会の開催 【市の関連事業名】 パンフィック・ミュージック・フェスティバル事業		
(2)事業目的	世界最高水準の音楽家等による演奏会の開催により、優れた音楽演奏に接する機会を広く提供し、文化芸術の発展及び向上を図り、音楽を通じて世界平和に貢献する。		
(3)事業開始	平成3年(1991年)		

2. 実施結果

2. 実績結果

(1)事業収支 (単位：千円)	項目	R5年度	R6年度	(前年比)	
	収入	218,231	223,706	(+5,475)	
	(経常収益比)	(49.2 %)	(41.9 %)		
	市補助金・交付金・負担金	111,759	108,995	(▲ 2,764)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入（補助金除く）	48,288	55,055	(+6,767)	
	その他収入	58,184	59,656	(+1,472)	
	費用（支出）	178,432	190,933	(+12,501)	
事業費	165,982	176,634	(+10,652)		
管理費等	12,450	14,299	(+1,849)		
収支差	39,799	32,773	(▲ 7,026)		
収支比率	122.30%	117.16%	(▲ 5.14%)		
(2)活動指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
①	公演数	27	25	30	30
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
①	演奏会入場者数	17,206	18,000	17,062	18,000
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は	<input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている	<input type="checkbox"/> 高める余地あり	<input type="checkbox"/> 出ていない
(2)収支状況	当該事業の収支状況は	<input type="checkbox"/> 良好	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり	<input type="checkbox"/> 要改善
	令和6年度は、音楽普及事業の一部企画内容を見直したこと等の影響により、演奏会入場者数が微減してしまったものの、PMFアンサンブル演奏会の回数増等により、公演数は目標を大幅に超える数値となっていることから、札幌市民や観光客に優れた音楽演奏に触れる機会を幅広く提供するという目的は達成できたものと判断する。			
	予算額以上の収入を確保してはいるが、協賛金収入が不安定であることや物価高等による事業経費の増加傾向が続いており、収入増及び支出の節約に努めていく必要がある。			

事業評価（ 3 ） 音楽普及事業

1. 事業概要	事業所管課：市民文化局文化部文化振興課	担当：佐藤	電話：011-211-2261
(1)事業内容	<p>一般の人々が気軽にクラシック音楽に触れることができる機会を提供し、クラシック音楽の普及を図る取組みを行う。</p> <p>1【リンクアップ・コンサート】アメリカ・ニューヨークのカーネギーホール教育プログラムをもとに開発した札幌版の音楽教育プログラム。札幌市内小学生を対象に実施。</p> <p>2【マスタークラス】公開マスタークラスとして、PMF教授陣がアカデミー生に指導を行い、その模様を一般に公開するプログラムを実施するほか、音大生のためのマスタークラスとして、札幌及びその近郊で音楽を学ぶ専攻生を対象に、PMF教授陣のレッスンを実施。</p> <p>3【PMFクラシックLABO】初心者にもわかりやすくクラシック音楽の魅力を伝える講座。</p> <p>4【オープンリハーサル】PMFオーケストラのリハーサルやゲネプロを一般に公開するプログラム。</p> <p>5【オーケストラ訪問リハーサル】PMF教授が札幌市内の中・高校の学生オーケストラを訪問し、指導を実施。</p> <p>【市の関連事業名】 パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業</p>		市負担金 13,812
(2)事業目的	演奏技術及び音楽指導方法の向上を図り、優れた演奏に接する機会を提供することにより、音楽に対する理解を深め、文化芸術の発展及び向上を図る。		
(3)事業開始	平成3年(1991年)		

2. 実施結果

(1)事業収支 (単位：千円)	項目	R5年度	R6年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)	20,643 (4.7 %)	23,272 (4.4 %)	(+2,629)	
	市補助金・交付金・負担金	10,209	13,812	(+3,603)	
	市業務委託料	0		(0)	
	市指定管理費	0		(0)	
	市施設利用料金収入	0		(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	3,105	2,287	(▲ 818)	
	その他収入	7,329	7,173	(▲ 156)	
	費用(支出)	16,103	17,714	(+1,611)	
	事業費	14,166	15,490	(+1,324)	
	管理費等	1,937	2,224	(+287)	
	収支差	4,540	5,558	(+1,018)	
	収支比率	128.19%	131.38%	(+3.18%)	
(2)活動指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
①	オープンリハーサル開催数	5	4	4	3
②	PMFクラシックLABO開催数	2	2	3	3
③	リンクアップ・コンサート開催数	1	1	1	1
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
①	オープンリハーサル来場者数	448	500	1,175	500
②	PMFクラシックLABO来場者数	267	100	108	100
③	リンクアップ・コンサート参加者数	662	700	748	700
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	令和6年度について、来場者数は、PMFクラシックLABOについては音楽をより身近に、気軽に楽しんでもらうよう企画内容を見直したこともあり、目標値を令和5年度から下げたものの、いずれも目標を超える人数となった。また、リンクアップコンサートは毎年参加校からも好評であることから、このような子ども向け事業をはじめとして、音楽普及事業は今後も力を入れることが望ましいと考えている。また、公演数も目標を超える数値となっていることから、札幌市民や観光客に優れた音楽演奏に触れる機会を幅広く提供するという目的は達成できたものと判断する。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	予算額以上の収入を確保してはいるが、協賛金収入が不安定であることや物価高等による事業経費の増加傾向が続いており、収入増及び支出の節約に努めていく必要がある。

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	28,766,961	47,937,593	△ 19,170,632
未収金	2,640	186,320	△ 183,680
前払金	3,351,505	4,189,999	△ 838,494
貯蔵品	1,164,773	1,726,701	△ 561,928
商品	580,802	398,898	181,904
立替金	0	69,640	△ 69,640
仮払金	14,710	15,660	△ 950
流動資産合計	33,881,391	54,524,811	△ 20,643,420
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	78,826,000	129,056,330	△ 50,230,330
普通預金	57,934,000	7,703,670	50,230,330
基本財産合計	136,760,000	136,760,000	0
(2) 特定資産			
教育・演奏会事業安定積立金	81,000,000	81,000,000	0
周年事業等特定費用準備資金積立金 (40回記念事業)	133,000,000	53,000,000	80,000,000
周年事業等特定費用準備資金積立金 (ミナミナコンサート事業)	9,000,000	10,000,000	△ 1,000,000
次年度事業特定預金	5,535,000	4,817,000	718,000
特定資産合計	228,535,000	148,817,000	79,718,000
(3) その他固定資産			
建物	138,184	172,728	△ 34,544
什器備品	529,394	992,111	△ 462,717
電話加入権	25,077	25,077	0
ソフトウェア	2,563,734	4,666,934	△ 2,103,200
その他固定資産合計	3,256,389	5,856,850	△ 2,600,461
固定資産合計	368,551,389	291,433,850	77,117,539
資産合計	402,432,780	345,958,661	56,474,119
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,237,972	5,061,173	176,799
前受金	11,984,500	17,669,000	△ 5,684,500
預り金	198,590	134,425	64,165
未払法人税等	20,000	20,000	0
未払消費税等	10,382,400	4,897,100	5,485,300
流動負債合計	27,823,462	27,781,698	41,764
負債合計	27,823,462	27,781,698	41,764
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金（次年度事業特定預金）	5,535,000	4,817,000	718,000
寄付金（基本財産）	136,760,000	136,760,000	0
指定正味財産合計	142,295,000	141,577,000	718,000
（うち基本財産への充当額）	（ 136,760,000 ）	（ 136,760,000 ）	（ 0 ）
（うち特定資産への充当額）	（ 5,535,000 ）	（ 4,817,000 ）	（ 718,000 ）
2. 一般正味財産	232,314,318	176,599,963	55,714,355
（うち特定資産への充当額）	（ 223,000,000 ）	（ 144,000,000 ）	（ 79,000,000 ）
正味財産合計	374,609,318	318,176,963	56,432,355
負債及び正味財産合計	402,432,780	345,958,661	56,474,119

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	479,400	479,400	0
基本財産受取利息	479,400	479,400	0
特定資産運用益	131,852	126,560	5,292
特定資産受取利息	131,852	126,560	5,292
受取会費	3,024,000	3,018,000	6,000
賛助会員受取会費	3,024,000	3,018,000	6,000
事業収益	57,342,264	51,392,440	5,949,824
演奏会チケット収益	46,420,473	40,494,600	5,925,873
その他演奏会収益	550,000	500,000	50,000
公演契約料収益	10,251,791	9,996,740	255,051
普及事業参加料収益	120,000	401,100	△ 281,100
受取補助金等	6,300,000	6,650,000	△ 350,000
受取地方公共団体補助金	2,700,000	2,700,000	0
受取民間助成金	3,600,000	3,950,000	△ 350,000
受取負担金等	361,411,000	278,621,000	82,790,000
受取地方公共団体負担金	361,411,000	278,621,000	82,790,000
受取協賛金	91,097,400	90,049,240	1,048,160
受取協賛金	86,797,400	85,749,240	1,048,160
受取公演協賛金	4,300,000	4,300,000	0
受取寄付金	9,130,270	9,457,765	△ 327,495
受取寄付金	5,369,600	4,600,265	769,335
受取寄付金振替額	3,760,670	4,857,500	△ 1,096,830
雑収益	4,858,664	4,053,222	805,442
受取利息	248	3	245
雑収益	4,858,416	4,053,219	805,197
為替差益	0	9,903	△ 9,903
為替差益	0	9,903	△ 9,903
経常収益計	533,774,850	443,857,530	89,917,320
(2) 経常費用			
事業費	446,265,968	417,938,868	28,327,100
1 役員報酬	2,160,000	2,160,000	0
2 給料手当	59,757,302	58,972,951	784,351
3 アーティスト報酬	85,939,669	89,022,751	△ 3,083,082
4 退職掛金費用	1,906,400	1,967,200	△ 60,800
5 福利厚生費	9,528,330	9,537,874	△ 9,544
6 会議費	1,249,952	1,032,039	217,913
7 渉外費	405,709	29,664	376,045
8 旅費交通費	5,265,307	3,985,329	1,279,978
9 アカデミー旅費	45,849,722	36,631,187	9,218,535
10 アカデミー宿泊費	24,916,150	20,232,400	4,683,750
11 アカデミー食料費	5,664,505	4,979,085	685,420
12 アカデミー諸費	5,144	0	5,144
13 アーティスト旅費	30,875,397	28,978,466	1,896,931
14 アーティスト宿泊費	11,290,700	11,038,055	252,645
15 アーティスト食料費	232,632	240,460	△ 7,828

科 目	当年度	前年度	増 減
16 アーティスト諸費	31,494	28,336	3,158
17 楽器費	3,179,438	1,183,890	1,995,548
18 楽譜費	1,564,733	1,504,216	60,517
19 資料費	53,490	50,565	2,925
20 著作権料	833,237	1,321,769	△ 488,532
21 会場使用料	2,312,160	2,277,930	34,230
22 通信運搬費	4,100,247	3,670,700	429,547
23 消耗什器備品費	703,810	403,962	299,848
24 消耗品費	2,948,004	2,402,279	545,725
25 短期簡易設備費	393,184	322,432	70,752
26 光熱水料費	482,963	506,510	△ 23,547
27 賃借料	10,907,966	11,231,258	△ 323,292
28 保険料	133,865	124,748	9,117
29 諸謝金	2,609,631	2,279,964	329,667
30 委託費	60,255,478	57,067,613	3,187,865
31 委託諸費	2,596,031	2,369,815	226,216
32 印刷製本費	7,399,244	8,597,166	△ 1,197,922
33 物品製作費	4,550,993	2,928,284	1,622,709
34 宣伝費	18,121,855	18,428,400	△ 306,545
35 記録費	2,707,498	1,864,842	842,656
36 租税公課	24,242,600	19,345,969	4,896,631
37 支払負担金	4,159,573	4,449,333	△ 289,760
38 支払手数料	3,881,309	3,611,903	269,406
39 為替差損	6,478	0	6,478
40 雑費	471,817	479,844	△ 8,027
41 建物減価償却費	32,471	11,908	20,563
42 備品減価償却費	436,280	601,238	△ 164,958
43 ソフトウェア減価償却費	2,103,200	2,066,533	36,667
管理費	31,775,512	27,667,426	4,108,086
1 役員報酬	5,040,000	5,040,000	0
2 給料手当	14,414,157	11,577,783	2,836,374
3 退職掛金費用	420,000	327,200	92,800
4 福利厚生費	3,056,371	2,479,464	576,907
5 会議費	184,469	269,505	△ 85,036
6 渉外費	355,307	297,180	58,127
7 旅費交通費	1,543,284	1,182,455	360,829
8 通信運搬費	964,275	903,187	61,088
9 消耗什器備品費	32,933	7,544	25,389
10 消耗品費	139,341	163,804	△ 24,463
11 光熱水料費	21,566	25,177	△ 3,611
12 賃借料	574,931	579,597	△ 4,666
13 保険料	3,837	3,770	67
14 報酬賃金	1,848,000	1,838,100	9,900
15 租税公課	1,548,600	1,234,932	313,668
16 支払負担金	278,840	297,493	△ 18,653
17 支払手数料	714,630	714,833	△ 203
18 委託費	47,196	154,379	△ 107,183
19 雑費	559,270	534,245	25,025
20 建物減価償却費	2,073	760	1,313
21 備品減価償却費	26,432	36,018	△ 9,586
経常費用計	478,041,480	445,606,294	32,435,186

科 目	当年度	前年度	増 減
評価損益等調整前当期経常増減額	55,733,370	△ 1,748,764	57,482,134
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	55,733,370	△ 1,748,764	57,482,134
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	985	0	985
什器備品売却益	985	0	985
経常外収益計	985	0	985
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	3	△ 3
什器備品除却損	0	3	△ 3
経常外費用計	0	3	△ 3
当期経常外増減額	985	△ 3	988
税引前当期一般正味財産増減額	55,734,355	△ 1,748,767	57,483,122
法人税、住民税及び事業税	20,000	20,000	0
当期一般正味財産増減額	55,714,355	△ 1,768,767	57,483,122
一般正味財産期首残高	176,599,963	178,368,730	△ 1,768,767
一般正味財産期末残高	232,314,318	176,599,963	55,714,355
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	479,400	479,400	0
基本財産受取利息	479,400	479,400	0
基本財産償還損	△ 1,056,330	0	△ 1,056,330
基本財産償還損	△ 1,056,330	0	△ 1,056,330
受取寄付金	5,535,000	4,817,000	718,000
受取寄付金	5,535,000	4,817,000	718,000
一般正味財産への振替額	△ 4,240,070	△ 5,336,900	1,096,830
当期指定正味財産増減額	718,000	△ 40,500	758,500
指定正味財産期首残高	141,577,000	141,617,500	△ 40,500
指定正味財産期末残高	142,295,000	141,577,000	718,000
III 正味財産期末残高	374,609,318	318,176,963	56,432,355